

ノーリフティングケアの必要性

～ ある看護師さんの思い ～

私は脳外科病棟で仕事をしていたことがあります。意識障害のある患者さんや半身まひのある患者さんを看護していました。

ベッドの足のほうにずり下がった患者さんを、1人で引っ張り上げてちゃんと座ってもらいました。車いすに乗れる患者さんは1人か2人でベッドから移動していました。できるだけ入浴してもらいたいと思い、持ち上げていました。患者さんのためにと考えてしていました。

このことが二つの点でよくないことがわかりました。

一つ目は働く者の腰痛を引き起こすことです。大きな男性の患者さんでも引っ張り上げていました。ベッドから車いすの移動では、できるだけ力で持ち上げて横に振っていました。腰への負担は大きく、腰痛の原因となります。

二つ目は患者さんへの影響です。私はある研修会で、ベッド上でずり下がった患者さんの役をして、ベッドの頭側からわきの下を持って引っ張り上げられました。それはとても痛くて、もうやめてと叫びたくなりました。力任せの介助で持ち上げられたり、引っ張られたりされている患者さんは、とても痛い思いをされていることを知りました。痛いことを1日に何回もされていると全身が緊張してその緊張が解けないままに次の緊張状態になります。そこから全身の関節の拘縮が起り、身体機能の低下につながります。

このような二つのことをノーリフティングケアで改善していきたいと思っています。

